

ガバナー通信 VOL.9(2021.12.1.)の執筆(?)中、次号 VOL.10(2022.2.1.)は「やっとコロナ終息！ゾンタ、冬眠から目覚め、全速力で走ります！！」と書けるはずだと信じていました。然るにオミクロンとかいう新悪役が瞬く間にデビューし、世界のTVは彼ら(彼女ら)のオンパレードであります。

この一年半、企画しては潰れその後始末をし、また計画しては無くし後片付けをする、この繰り返しでした。徒労の連続で、最初から何も行動を起こさなかったらどれほどマシだったかなと思ってしまいます。2倍の動力、2倍の疲労・虚無感。この悲劇を心の中で自分で嘆いていたのですが、D26から続々と届く「中止・延期」の案内にハッとさせられました。。皆んな、そうだったのです。皆同じ目に遭い、皆が絶え忍んで、必死で戦いながらも根気よく望みを捨てず春の到来を待っておられたのでした。いじけた被害者意識の自己反省と共に、VOL.11(2022.4.1.)には「春到来！！」と書けるはず！との希望と勇気を頂き、力強くこの2か月を歩みたいと思います。

さて、本題です。(委員長便りに掲載されているものは割愛致します。)

●ヒトデプロジェクト第二弾の配布が終わりました。日本各地の53施設に心を込めて届けました。オリジナルQuoカードに♡飴入りミニブーツ、それにクリスマスカードを添えました。思いの外たくさんの方からお礼のお手紙やお電話を頂き、その時の子供たちの喜んだ様子が伝えられ、その写真を送って下さり、こちらが温かい気持ちになりました。

今一度ヒトデプロジェクトのことを確認させて下さい。これは(自分のせいでも無いのに)海岸に打ちひしがれて苦しんでいる可哀そうなヒトデを1匹でも海に還してやろうという26地区46クラブが共に行う地区プロジェクトです。届けられるのは物品ではなく温かい心でしかありません。些細な品物に「日本のゾンタはあなたを応援しています。ずっと一緒です。」という思いを乗せて届けています。第二弾が終わり、26地区にも少しずつ理解していただけるようになってきたかと思っております。次期(2022-2024)にも継続プロジェクトとして地区大会Part1でお認め頂きました。つきましては、個人的に反対だった方も反対だったクラブも、地区のプロジェクトとしてどうか受け入れて下さり、今年度最後の第三弾、そして次年度からの第四弾からに向けてご理解とご協力を賜りますよう切にお願い致します。困っているヒトデを見つけてあげて下さい。私ももうあと少し頑張ります、どうか宜しくお願い致します。

●『「地区指名委員は、最初の任期を完了してから4年後以降ならばその任に就くことが出来る」という任期条件を国際ゾンタ運営の書に加えることを、次期国際大会に26地区から提案する』ことが、地区大会Part1で指名委員会が提案し地区として決議されました。そこでガバナーとしての私の役目は、それを決められた日

以内に国際に届けることでした。

国際会長、HQ にその旨メールしましたところ、Bylaws and Resolutions Chairman(規約・決議委員長)の Sonja(ソニア)より聞き取りをしたいと連絡を頂き、zoom 会議でそれなり(?)に 26 地区の思いを伝えました。そこで国際と 26 地区の認識の違いを知ることになりました。パイロースには地区役員(理事)・指名委員の任期が記載されています。

分かりやすく書き直すと、

・まず、地区役員(理事)・指名委員の任期は全て 2 年であるということ。(正式には後任者が就任するまでであるから 2 年弱や 2 年強であったりするが。)

そして(第XIII条第 6 項(c))には

・ガバナー・副ガバナー・書記は 2 年の任期を終えると再度その役に付くことは出来ない。

・会計のみ 2 年の任期を 2 期まで(2×2=4 年)務めることが出来るが、それを終えると再度その役に付くことは出来ない。

・エリアディレクターは 2 年の任期を終えた後 4 年はその役に付くことは出来ないが、4 年経過すれば再びエリアディレクターを務めることが出来る。

とあります。しかし、指名委員にはこのような記載は有りません。

我々 26 地区は、人材不足の指名委員立候補者の為、せめてエリアディレクター同様、4 年経過すれば再び指名委員を務めることが出来るとパイロースに記載して欲しかった訳なのですが、ソニア委員長曰く「記載がない＝地区役員(理事)のような縛りが一切無い＝指名委員は 2 年の任期後すぐにも何度でも務めることが出来る」ということなのだそうです。パイロースはそう解釈するのだそうです。逆に 26 地区の提案を次期国際大会に出すと、

・指名委員は 2 年の任期を終えた後 4 年は再度その役に付くことは出来ない

という提案になってしまうという訳です。

国際と 26 地区の解釈の違いを感じました。「記載がない＝縛りが無い＝自由」の国際と「記載がない＝勝手にしては駄目 =許可を求める」の D26 との違いです。D26 は奥ゆかしいのです♡ そこで、ここからが本題なのですが、地区大会で決議したにもかかわらずこの国際への 26 地区の Proposal は取り下げたいと思います。安田指名委員長にはすぐにご理解頂き、指名委員にも同意頂きました。地区大会で決議したことから、会員皆様のご理解も頂きたいのです。ご意見のある方(クラブ)は 5 日以内にガバナー岡澤まで連絡を下さい。それらを待って、正式にソニア委員長に 26 地区の意向をお伝えしたいと思います。

尚、ソニア委員長(PIP=元国際会長)は日本に来たこと、地区大会(高松)や横浜大会でのことをとても喜んでおられ感謝されておられました。I am so fortunate to have been able to spend so much time with you in Japan.です。

●2022.6.24-28 次期世界大会(ハンブルグ)はどうなるのでしょうか?という問い合わせを沢山頂きますが、答えることが出来ません。1/28 にガバナーコールがありました。そこで国際会長も本部も、今のところはハイブリッド式でやる予定であること、しかし何人がハンブルグに来るのか?とても心配しておられました。誰にもその時の状況が今、分かりません。国際会長にも全く分からない訳です。

ハンブルグ世界大会は今月中が最初の(リーズナブルな)申込締切となっております。そこで、とりあえず今、行けるものなら現地へ赴こうとされている方は申し込みましょう。2 月 10 日前後に国際翻訳委員矢崎さんより申込の翻訳を配信してもらいます。それをご覧になって今月ギリギリにでも登録していただきたいと思います。2 月に国際から詳細も来ますのですぐにクラブ配信させていただきます。万一オンラインオンリーになった時その登録料はどうなるのか私にもわかりません。(返金されるのかドネーションなのか) 3 月にシャロン会長が、4 月

にHQ が現地入りして最後まで模索されるようです。木下国際理事にお願いしているハンブルグでの D26 参加者の為の通訳も決め兼ねています。全てが宙ぶらりんの何とも言えない世界状況です。健康状態その他で最初からオンラインと決めておられる方はそれで十分、一人でも多くその登録をお願い致します。尚、あらためてご案内致しますが、クラブのデリゲート提出の準備をお願い致します。現地に赴かれる予定の方、オンライン参加の方、どちらでもデリゲートは OK です。また、2019 世界大会(シカゴからのオンライン会議)以降の物故者の提出の準備も宜しくお願い致します。

●地区大会 Part2 について

2022.6.11(土)に当初の予定通り琵琶湖ホテル(大津市)で行います。

11時から	会議	琵琶湖上客船「ピアンカ」にて
17時半から	メモリアルサービス	琵琶湖ホテル「チャペル」にて
19時から	懇親会	琵琶湖ホテル「瑠璃の間」にて
オプション1	2022.6.10(金)	18時から 前夜祭 琵琶湖ホテルにて
オプション2	2022.6.11.(土)	朝8時半から 三井寺散策(日時変更可能性有)

2泊3日(6/10-12)を予定していただくと有難いです。しかしこれもまたその時のコロナ状況に支配されます。よほどの時は残念ながら中止とします。

●4月2日に、東京 GRACE ゾンタクラブ国際ゾンタ加盟認証状伝達式が行われます。追って案内が行くと思いますが、11時半から伝達式、12時半から小宴(於 The Okura Tokyo)です。コロナ禍にあって誕生したクラブです。皆で大切にし良き成長を願いたいと思います。

●「Zonta Says No!」の紹介、いまだ果たせず申し訳ありません(締切後にも続々と届けられ混乱してました。そんなこと言い訳にもなりません。)今、アドボカシー委員長の手に委ねております。今しばらくお待ちください。

●3月はローズディ月間です。こんな時期ですが「Zonta Says No!」同様、趣向をこらしたクラブの取り組みが届けられることを願います。

尚、3月は私またビデオ出演して、エリアミーティング、地区大会 Part2、国際大会のことなど、その時の状況を鑑みてゾンタの詳細をお伝えしていきたいと思います。美しいローズディ月間に不似合いです。どうかご容赦の上ご覧いただければ幸甚です。

配信予定:2022.3.1-5。(近づきましたら URL をお知らせ致します。逆に何か説明を要するものがございましたら 2/20 までにガバナー岡澤までご連絡ください。)

春を待ちわびつつ・・・

2020-2022 26 地区ガバナー 岡澤則子

国際の窓

皆様善き新年をお迎えになられたことと存じます。国際ゾンタの理事達もそれぞれの国のコロナの状況を嘆きながらも、元気に度重なる会議をこなしています。

「2月の理事会は絶対にシカゴで！」と、シャロン国際会長を筆頭に全員張り切っていたのですが、オミクロンのお陰で、またもやキャンセル。オンラインに変更になりました。慣れっこになっているとはいえ、辛いものがあります。

6月の世界大会に向けてのリハーサルもやる予定でしたのに、、、。

その世界大会に向けての作業が佳境に入ってきた感じがします。“Strategy” “Governance” “Membership” “Advocacy” というゾンタの4本柱の白書作成もドラフト段階を終えつつあります。英語を母国語としない理事たちが、英語で書き上げます。その書き方もそれぞれの国で学んだ英文法が表れ、なかなか面白いものがあります。私たちが作成したドラフトにアメリカのコンサルタントが修正を入れます。(このコンサルタントは当然ゾンタを熟知しているわけではありません。)→正しい英語になって帰ってきたドラフトをまた理事たちがゾンタの感性で書き換えます。このような凄まじいエネルギーを使う作業を繰り返しています。2月の理事会でこれをしっかり検討します。世界大会の90日前までには皆さまのところに「検討事項」として届くことになると思います。

来期もこのような作業が継続され、国際ゾンタは成長を続けるのだと思います。来期の理事たちの活動を想像しながら、そして、いつかゾンタのような組織が必要でなくなる日が来ることを夢見ながら、6月のハンブルグ世界大会まで頑張ります！

そういう作業の中での気付きをお知らせしたいと思います。

26地区は日本のみで形成されていますが、世界32地区の中には1つの国がいろんな地区を形成している国や、一つの国が分断され、いくつかの地区に所属している国もあるのです。そういう国が意識を一つにするために、Caucus や Union を形成していることがわかりました。例えば、USA Caucus, The Caucus of Canada, Zonta Clubs of France, The Union of German Zonta Clubs, Italy “Interclub ZontaItalia” などその一例です。中には言語の異なる国で形成されている地区もあり、それなりの苦勞もあるようです。また、英語が不得意なのは日本だけかと思っていましたが、ヨーロッパにもかなり英語を苦手としているゾンシャン達もいるのだということもわかりました。

国際ゾンタは Diversity を大切にしている組織なのです。Gender に関する表現も削除されました。

色んな意味で世界をリードしている組織、国際ゾンタ。私たちもそのことを誇りに思っ活動続けましょう。

委員長便り

国際奉仕賞の応募を1月25日に締め切り致しました。
地区、クラブより応募頂きまして、皆様ご協力ありがとうございます。
国際の2月28日、締め切りに向かって委員会にて厳正に選考し、推薦したいと思います。
結果は追ってお知らせしますので、今しばらくお待ち下さい。

26 地区奉仕委員長 羽藤成代

シャロン国際会長より ゴールデンZクラブ会員の卒業生にメッセージを送って下さるとのことで、
ゴールデンZクラブに卒業生の名簿を提出してもらい、矢崎国際翻訳委員のご協力を頂きながら
メッセージを送る準備をしています。

Z&GZクラブ委員長 真鍋芳美

「YWPA奨学金 締切2月末です」
コロナ禍のなか、それぞれ大変な思いをしている事と存じます。
さて、今期のYWPAの募集の期限が2月末に迫ってきました。
各高等学校に行きYWPAの奨学金を熱く語っておられるクラブもあるとお聞きしました。
「よりよい社会実現のため」努力・尽力している若い女性(16歳～19歳)を認め賞賛し、
今後のゾンジャンになる人材を発掘していきましょう。

YWPA 奨学金委員長 納富輝子

昨年に引き続き、今年も会員獲得キャンペーン”Add Your Voice”が4月1日から5月31
日まであります。期間中に新入会の登録手続きをオンラインで行ったクラブが、その入会者数に
応じて表彰される、というものです。

近日中にちらしとガイドラインが、AD から配信されます。
多くのクラブがチャレンジしていただきますように！

副ガバナー/会員委員長 浅野万里子

ゾンタの目的が女性の地位向上だと確認して入会してきた会員はどれ位おられるのか。
ゾンタの中の隣人を信じよう、信頼しよう、認めようとする人としての心を忘れずにいたい。
天知る地知る我知る人知ると大昔の政治家が言ったという。自分も含めもう一度知りたい。

リーダーシップ開発委員長 水野幸子

『Zonta Says No!』に対する各クラブの取り組みにつきまして、ガバナーより早くから依頼を受けて
おりましたが、私の手違いにより、報告書がうまくガバナーに届いておりませんでした。

すぐチェックの上、近日中に皆様へ配信させていただきます。
遅くなって申し訳ありません。

アドボカシー委員長 吉村侑子

1961年7月、日本で初めてゾンタクラブが誕生しました。東京IZCのヒストリアンでもある私の手元には、『日本のゾンタの歴史』と言っても良い初期の記録が先輩から託されて保存されています。

下の左写真は、設立翌年1962年4月6日設立祝賀会で挨拶される国際会長E・ハリス様(北米から26名のゾンジャンと共に来日)。右は7月サンフランシスコの第37回国際大会でハリス会長からM・ピアース新会長への交代式。(出席した尾形茶香会員が撮影)

60年後の今、国際ゾンタからの交信は郵便からオンラインへと、ゾンタの活動のスピードと内容は大きく様変わり。コロナ禍に世界中のクラブが影響を受けながらも、私たちは「Zonta Love」「Zonta Spirit」を胸に連携して未来に向けて歩んでいきましょう。

ヒストリアン 向井優子



1月24日、フィリピンゾンタの主催で、アメリア・イアハート月間の記念行事に、山崎直子さんが招かれて、オンラインで講演がありました。山崎さんはアメリア・イアハートの奨学生であり、2010年にディスカバリーの乗組員として、日本人女性として二人目の宇宙飛行を体験されています。

その後も、「Space Port Japan」の代表理事や、日本宇宙少年団の理事長などをされて、活躍を続けています。

日本の現在にも言及され、2020年のジェンダーギャップ指数は、121位、国会議員に女性が占める割合は9.7%など、女性の活躍が進んでいない状況なども話されました。

締めくくりの言葉は、以下です。

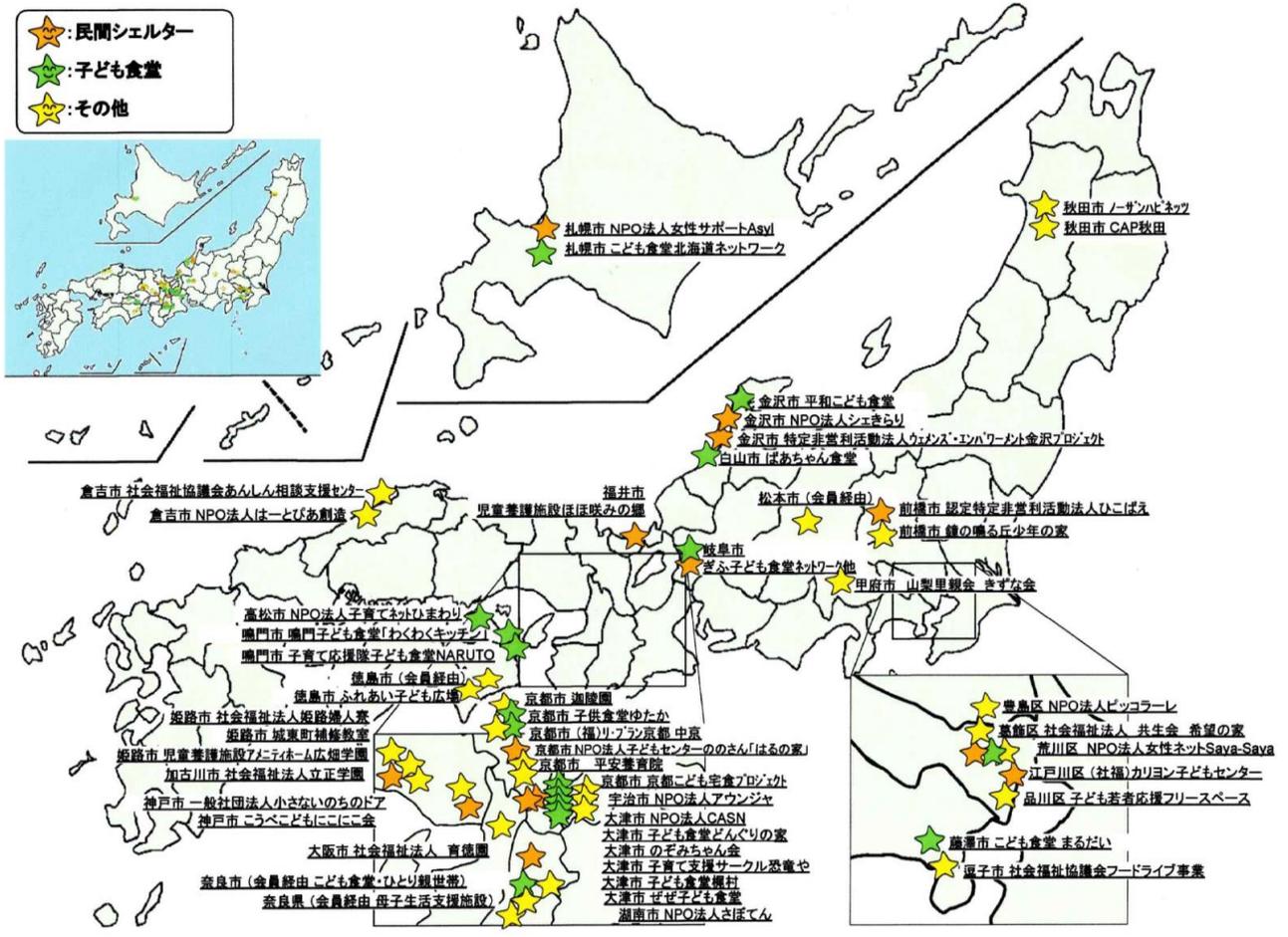
「If you want to go fast, go alone」早く行きたければひとりで行け

「If you want to go further, go together」遠くへ行きたければみんなで行け

アメリア・イアハート奨学金委員長 一澤恵美

「ヒトデプロジェクト」の報告あれこれ

☆ヒトデプロジェクト第二弾贈り先



☆ヒトデプロジェクト寄付金まとめ

2021年3月15日～2022年1月31日の	寄付金額	3,899,586 円
第一弾と第二弾にかかった費用	支出額	3,233,164 円
	現在の残金	666,422 円

I) 国際ゾンタ役員・理事への26地区支援基金

(詳細はガバナー通信第3号をご覧ください)

★支援金★ 283口 566,000円
(2020.10.28~2022.1.31 現在)

【口座】三菱UFJ銀行 京都支店 普通 3844664
国際ゾンタ役員・理事への26地区支援基金 代表 岡澤則子

.....
1口2,000円です。複数者でお振込みの時は、内訳を
地区書記 後藤までお知らせください。
d26secretary@zonta-d26.jp

II) 26地区ヒトデプロジェクトへの寄付

第二次

★寄付金★ 1,533,226円 (1/31 現在)
(2021.6.1~) クラブ寄付: 520,000円
個人 寄付: 1,013,226円

★累計額 3,899,586円(2021.3.15~)
但し、冊子・運営の書・名簿等の追加収益146,000円も合算

【口座】八十二銀行 本店営業部 普通 1252683
国際ゾンタ26地区会計 笠原芳子

.....
口座不問です。地区書記後藤までお名前・金額をお知らせの上、
お振込み下さい。 d26secretary@zonta-d26.jp

今後の26地区行事予定 ZONTA カレンダー2022年

5月	8日(日)	エリア1 第13回エリアミーティング ホスト:函館 ZC	ホテル函館ロイヤル
	15日(日)	エリア3 第14回エリアミーティング ホスト:金沢 ZC	ANA クラウンプラザホテル金沢
	22日(日)	エリア4 第14回エリアミーティング ホスト:フェニックス神戸 ZC	ホテル北野プラザ六甲荘
	29日(日)	エリア2 第13回エリアミーティング ホスト:三重 ZC	都ホテル四日市
6月	10日(金)~ 11日(土)	地区大会 Part2 ホスト:大津 ZC	琵琶湖ホテル

編集後記

☆誰にでも不注意はある?!

二年半前は経済的不注意を招いた。今回は身体的不注意を招いている。

去年暮れ、京都駅の階段を転げ落ちた。落ちている途中、妙に冷静で「火曜サスペンスならこの後、血を流して横たわって死ぬのだろう」と思ったりした。咄嗟に頭を手で守っていた。これ以上パーになってはゾンタどころではない、母と一緒に毎日日向ぼっこをしていなければならぬ。肘と真っ白のコートが犠牲になった。反省した筈なのに、その後すぐ某駅でまた転落した。左膝が犠牲になった。正月に気を引き締めた、絶対に気を付けようと。然るに五日で夢破れた。1月5日に某道でまたズッコケた。右膝が犠牲になった。現在、もはや人間の肉体ではない。

☆ある人は言う「忙しすぎるのね。でも慌てないでね。気を付けてね。」

ある人は言う「酔っ払ってたんやろ~?」と。

自分では、運動不足、視力低下、常に時間に追われて走っていること、かつ前述の経済面精神的物理的後遺症が原因かと分析する。かつてはバレー部のキャプテン、視力2.0だった。今は昔、、、もう思い出すだけで虚しくも悲しい。

☆もはや「帰宅」ではない、怪我せずに家に辿り着くことを「生還」と呼ぶ今日この頃である。皆様も、コロナや放火の物騒なこの時代、自らの不注意にはくれぐれもご注意ください。  G 